

各社の新型コロナウイルス感染症に 負けない取り組みを紹介

■従業員の福利厚生で地元飲食店を元気に！

武田商店（武田壮平社長、氷雪販売業、道北あさひかわ支部会員）は、「旭川飲食店応援プロジェクト」と題し、従業員一人につき20,000円を上限に市内飲食店での利用料金を全額キャッシュバックする取り組みを3/16から行っています。取り組みの目的は、休校などで膨らんだ家計への補助や、顧客の実情を知り社内での会話のきっかけをつくり、飲食店の応援をしながら雰囲気をも明るく変えることでした。武田社長は「会社のお金はみんなで稼いだものです。社内で議論し、みんなで使って地域貢献をしようとなりました。自社で出来ることで地域を明るくしたい」と語ります。



■危機を乗り越え、成長していくチャンスに！

ホテルテトラ（三浦新介取締役、宿泊業、函館支部会員）は、全国でホテル25店舗を展開しています。新型コロナウイルス感染症の拡大で厳しい状況にありますが、レストランの料理をテイクアウト形式で販売したり、日中の時間帯に客室をテレワークで利用してもらう新たなプランでお客様の呼び込みを図っています。三浦取締役は「確かにピンチであるが、危機を乗り越え、成長していくチャンスととらえ頑張りたい」と語っています。



■新入社員2名を迎え、新たな船出へ！

井上技研（犬嶋清幸社長、建設業、札幌支部会員）は、今年度2名の新入社員を迎えました。これまでは同友会の合同入社式へ参加していましたが、今年度は中止となったので自社で初めて4/1に入社式を開催。入社式では、



社長の訓示から始まり、会社の経営理念・基本方針・経営計画を伝え、そして二人に決意表明をしてもらい、参加できた社員で歓迎しました。犬嶋社長は「二人の成長と活躍を期待しています」と嬉しそうに述べています。



===== <同友会事務局ヒアリングで聞かれた会員の声（抜粋）> =====

- 日本政策金融公庫に申請をしているが、中小企業家しんぶんや同友会のメール情報が事前にあったので、どのように言えば良いのかがわかりスムーズに申請できた（不動産業）
- 『道新』の新型コロナウイルス特集掲載の専門家の意見を社内に回覧し、冷静に対応するよう呼び掛けている（食品製造業）
- 今回をきっかけにテレワーク、テレビ会議の推進がされた。自社変革の良い機会だと捉えている（印刷業）

【北海道同友会ホームページでは各支援策を随時更新中です】
<https://hokkaido.doyu.jp/> または、 で検索して下さい。